

上智大学中世思想研究所企画

人間関係の哲学

—— 古代・中世・近代・現代 ——

人間において自立性と相互承認による関係性は相補的に繋がっています。このテーマはすでに古代から多様な形で展開され、中世・近代においては人間像の形成に寄与し、現代では多面的に —— 場合に、対立的に —— 論じられています。本講義では代表的な思想家を取り上げ、その基本的なテキスト（和訳）を解説することを通して西洋思想史をたどり、人間の愛と自由、相互理解と尊敬の構造などを考察していきます。哲学史・思想史についての知識は前提としません。

講師：クラウス・リーゼンフーバー（上智大学名誉教授・同中世思想研究所元所長）

専門：中世哲学、西洋思想史

曜日・時間帯：水曜 19:00-20:30（全12回）

- | | |
|-------|--|
| 10/07 | ソクラテスとプラトン（前4世紀）
—— 魂への配慮と善美へのエロース |
| 10/14 | アリストテレス（前4世紀）—— 友愛論 |
| 10/21 | 聖書における愛と契約 |
| 10/28 | オリグネス（3世紀）とベルナルドゥス（12世紀）
—— 関わりと一致としての愛 |
| 11/04 | リカルドゥスとアエルレドゥス（12世紀）—— 人格同士の関係 |
| 11/11 | トマス・アキナス（13世紀）—— 人格の構造と愛 |
| 11/18 | ライプニッツ（18世紀初頭）—— 個人と対人関係 |
| 11/25 | カント（18世紀後半）—— 自律と相互関係 |
| 12/02 | フォイエルバッハとサルトル（19-20世紀）—— 無神論における対人関係論 |
| 12/09 | ブーバーとマルセル（20世紀前半）—— 我と汝 |
| 12/16 | フッサールとシェーラー（20世紀前半）—— 現象学における他者論 |
| 01/06 | ヤスパースとガダマー（20世紀）—— 実存と対話 |

テキスト：クラウス・リーゼンフーバー著『西洋古代・中世哲学史』

（平凡社ライブラリー、本体価格 1,400 円、ISBN: 978-4-582-76357-7）

使用原典（和訳）は、授業で配布します。

* 定員に限りがございますので、お早目にお申し込みください。

受講料（税込）：32,400 円 連絡先：上智大学公開学習センター 03-3238-3552

* 当チラシは、企画元・上智大学中世思想研究所が作成したものです。